



探究発表会、充実していました

11月10日は、全校あげての探究発表会でした。全生徒が自分の探究活動についてまとめ、教室・特別教室・CP棟・体育館・附小多目的室と、様々な場所で発表を行いました。生徒諸君は、他生徒や保護者の皆さん、これまでの探究でお世話になった皆さん等、多くの方々を前に、**立派な発表を披露**してくれました。

昼からは、学年代表生徒と第一高校、熊本高校生徒による探究発表。その後、学年代表生徒と高校生によるパネルディスカッションを、熊本大学の前田特任教授のコーディネートにより行いました。パネルディスカッションでは、「質の高い探究とは」をテーマに、フロアの生徒たちと共に議論し、意見をまとめました。

前田特任教授からは、本校の発表会についてFacebookで、2回にわたり、以下のありがたいコメントをいただきました。



↑各会場での発表 3年生発表↓



パネルディスカッション↓



↓高校生発表



本発表会は、本校生徒と職員の取り組みと共に、保護者の皆さんや探究に協力いただいた皆さん等、多くの方々のご協力で、充実した会となりました。ご協力いただいた皆さんに、心から感謝申し上げます。綱領の「厳しい知性」に関わる、新たな附中の行事が誕生したと思っています。

前田特任教授のコメント（スペースの都合で、一部の紹介です。）

【12/10：附属中の探究発表会 その1】

昨日は熊本大学教育学部附属中学校の探究発表会に参加しました。一言でいえば「圧巻」でした。

…中略… 特筆すべきは、単なる調べ学習にとどまらず、実際の行動につなげている点です。学校の魅力を発信するためのオリジナルグッズをデザインし、製作し、販売するという取り組みも見られました。学習が現実社会とつながり、生徒自身の主体性が強く感じられます。

学年が混在することで互いに学び合い、生徒一人ひとりがまさに学びの当事者。学校全体に「探究が循環している」風景が広がっていました。

…略…

【12/10：附属中の探究発表会 その2】

…略… 全体を通して強く感じたのは、生徒だけでなく、教職員も保護者も学び合っているということです。教師が「質の高い探究」を一方的に定義し、生徒にやらせるのではなく、生徒自身が学びの質について考え、問い合わせ、語っているという姿に驚きと感動を覚えたところです。

この日は、学校の学びの風景に変化が起きていることを実感できる1日となりました。

本発表会は、本校生徒と職員の取り組みと共に、保護者の皆さんや探究に協力いただいた皆さん等、多くの方々のご協力で、充実した会となりました。ご協力いただいた皆さんに、心から感謝申し上げます。綱領の「厳しい知性」に関わる、新たな附中の行事が誕生したと思っています。

校長として、嬉しいことがありました。お世話になった方々との挨拶の中で、生徒が学びに真剣に向かう姿を評価していただき、「このような中学生に育つなら、ぜひ自分の子ども（孫）をこの学校に通わせたい」と、複数の方から同じ言葉をいただいたのです。学校外の方々にも認めていただけの学びと成長が実現できている。こんな素敵なことはありませんね。